

②福祉の未来

福祉の未来					
施策の基本方向/施策の体系		順調 A	概ね順調 B	遅れ C	見直し D
1. 高齢者や障がい者を地域で支える仕組みの充実	3	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
2. 誰もが生きがいを持って暮らせる環境の充実	3	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
3. いきいきと暮らすための健康づくり	2	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
4. 誰もがお互いに人権を尊重し、協調して支え合う社会づくり	2	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)
合計	10	3 (30.0%)	6 (60.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)

- ・ 10の施策の体系のうち9の施策の体系（90.0%）が順調または概ね順調との結果であった。
- ・ 「1. 高齢者や障がい者を地域で支える仕組みの充実」「2. 誰もが生きがいを持って暮らせる環境の充実」で評価が高い傾向にあり、各種福祉サービスにおける成果が伺える。
- ・ 「4. 誰もがお互いに人権を尊重し、協調して支え合う社会づくり」においては、1施策の体系において施策事業の改善に取り組む必要がある。

1. 高齢者や障がい者を地域で支える仕組みの充実

施策コード	P2101		
評価	施策の体系		施策の方針
A	①住み慣れた地域で住み続けられる福祉サービスの充実		<ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型の在宅福祉推進サービスを充実する ・高齢者・障がい者の自立した生活支援のための環境整備を充実する
		■主な事業	■主な成果
福祉課	<p>食の自立支援事業、生活管理短期宿泊事業、自立支援協議会運営事業、障害福祉サービス給付等(居宅支援・施設支援・就労支援等)、介護保険事業(介護給付・予防給付)居宅サービス・介護予防サービス、地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)、地域支援事業(包括的支援事業)、市町村特別給付(おむつ購入費支給事業)、障がい者への理解浸透や支援拡大、在宅老人緊急通報体制整備事業、高齢者及び障がい者住宅改造助成事業、老人クラブ助成及び高齢者食生活改善事業、重度心身障がい者医療費給付事業、補装具費支給事業、自立支援医療【更正医療】給付事業、地域生活支援事業(障がい児タイムケア事業含む)、高齢者・障がい者虐待防止事業</p>		<p>高齢者などの自立支援のため、おむつ購入費支援、食の自立支援、緊急通報体制整備などを行っている。おむつ購入費支援事業においては、目標以上の給付実績となっており、給付率も増加傾向にある。</p>
		■課題	■次年度への展開
		順調に推移しており特記なし。	順調に推移しており特記なし。

施策コード	P2102	
評価	施策の体系	施策の方針
B	②地域で福祉を支えるための組織・人材づくりと活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での福祉活動支援を進める ・緊急時の支える仕組みを検討する ・地域で福祉を支える人材を養成する ・介護する家庭の支援を充実する
	■主な事業	■主な成果
福祉課	全地区でのサロンの設置・実施、老人クラブ助成及び高齢者食生活改善事業【再掲】、障がい者団体助成事業（身障者福祉会・手をつなぐ育成会等）、医療・介護・福祉関係者のネットワークの形成、在宅生活への支援、高齢者の見守り体制の確立、避難行動要支援者名簿の充実と個別計画の作成、緊急時医療等情報カードの配置、福祉を支える人材の確保・支援、健康・福祉の地区の担い手の充実、福祉教育の充実、在宅ねたきり老人等介護手当、高齢者や障がい者を支える家族の支援	全地区でいきいきサロンを設置しているが、感染症対策をとりながら徐々に実施を再開する地区が増えてきたことで、高齢者の健康増進につながっている。 八代市、郡市医師会と連携し、医療・介護・福祉による包括ケアシステムの構築を継続して行った。
	■課題	■次年度への展開
	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時医療等情報カードの情報を最新の状態に保つ必要がある。 ・在宅ねたきり老人等介護手当について受給資格を満たすことが難しい。 ・ペアレントメンターのなり手がいない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回以上、情報カードの内容確認通知を送送する。 ・廃止に向けた検討を行う。 ・八代圏域で協力し、養成事業への保護者参加を呼び掛ける。

施策コード	P2103	
評価	施策の体系	施策の方針
A	③地域の福祉を支え、かつ専門的で高度なサービスを提供する福祉施設の充実及び移送サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・施設サービスの充実と福祉施設の充実を進める
	■主な事業	■主な成果
福祉課	施設サービス利用に係る利用者負担減免事業、老人福祉施設措置事業、利用者に対する情報提供、障害福祉サービス給付等（居宅支援・施設支援・就労支援等）【再掲】	施設サービス利用に係る利用者負担減免事業について、町内社会福祉法人と情報交換等により対象者発生時に速やかに実施。障害福祉サービス給付等についても、サービスの利用希望者に対し、手続き案内・更新手続きなど適切な事務処理を行った。
	■課題	■次年度への展開
	順調に推移しており特記なし。	順調に推移しており特記なし。

2. 誰もが生きがいを持って暮らせる環境の充実

施策コード	P2201												
評価	施策の体系	施策の方針											
B	①高齢者をはじめ、障がい者など、誰もがいきいきと活躍できる仕組みの充実	・高齢者・障がい者の働く機会を創出する仕組みと体制を充実させる											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">■主な事業</th> <th>■主な成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福祉課</td> <td>シルバー人材センター運営費補助事業、各地区のまちづくり活動における高齢者の仕事の創出、障害福祉サービス給付等（居宅支援・施設支援・就労支援等）【再掲】</td> <td>シルバー人材センターの運営を助成し、高齢者の労働能力を活用した生きがいづくりや社会参加を促進した。また、障がい者が地域で自立した生活を送るため、自立支援給付で介護給付や訓練等給付を実施した。</td> </tr> <tr> <th colspan="2">■課題</th> <th>■次年度への展開</th> </tr> <tr> <td colspan="2">各地区老人会の会員減少により、活動自体に苦慮がみられる。</td> <td>高齢者の働く機会を創出する仕組みについて、関係機関との協議により方向性を検討する。</td> </tr> </tbody> </table>		■主な事業		■主な成果	福祉課	シルバー人材センター運営費補助事業、各地区のまちづくり活動における高齢者の仕事の創出、障害福祉サービス給付等（居宅支援・施設支援・就労支援等）【再掲】	シルバー人材センターの運営を助成し、高齢者の労働能力を活用した生きがいづくりや社会参加を促進した。また、障がい者が地域で自立した生活を送るため、自立支援給付で介護給付や訓練等給付を実施した。	■課題		■次年度への展開	各地区老人会の会員減少により、活動自体に苦慮がみられる。	
■主な事業		■主な成果											
福祉課	シルバー人材センター運営費補助事業、各地区のまちづくり活動における高齢者の仕事の創出、障害福祉サービス給付等（居宅支援・施設支援・就労支援等）【再掲】	シルバー人材センターの運営を助成し、高齢者の労働能力を活用した生きがいづくりや社会参加を促進した。また、障がい者が地域で自立した生活を送るため、自立支援給付で介護給付や訓練等給付を実施した。											
■課題		■次年度への展開											
各地区老人会の会員減少により、活動自体に苦慮がみられる。		高齢者の働く機会を創出する仕組みについて、関係機関との協議により方向性を検討する。											

施策コード	P2202												
評価	施策の体系	施策の方針											
B	②高齢者や障がい者の知恵や経験を活かした主体的な社会参加の促進	・高齢者の社会参加の機会や仕組みを充実させる											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">■主な事業</th> <th>■主な成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生涯学習課</td> <td>ふれあい大学（高齢者学級）</td> <td>学習講座やバスハイクのほか、介護保険制度講座、火災予防講座、人権講座、モルック大会を開催した。</td> </tr> <tr> <th colspan="2">■課題</th> <th>■次年度への展開</th> </tr> <tr> <td colspan="2">運営委員会による主体的な事業企画が望まれる。</td> <td>運営委員会による主体的な事業企画を支援し、講演形式の講座を中心とした事業実施を図る。</td> </tr> </tbody> </table>		■主な事業		■主な成果	生涯学習課	ふれあい大学（高齢者学級）	学習講座やバスハイクのほか、介護保険制度講座、火災予防講座、人権講座、モルック大会を開催した。	■課題		■次年度への展開	運営委員会による主体的な事業企画が望まれる。	
■主な事業		■主な成果											
生涯学習課	ふれあい大学（高齢者学級）	学習講座やバスハイクのほか、介護保険制度講座、火災予防講座、人権講座、モルック大会を開催した。											
■課題		■次年度への展開											
運営委員会による主体的な事業企画が望まれる。		運営委員会による主体的な事業企画を支援し、講演形式の講座を中心とした事業実施を図る。											

施策コード	P2203	
評価	施策の体系	施策の方針
A	③ユニバーサルデザインによる人にやさしい環境づくり	・ユニバーサルデザインの考え方の普及とその実践を推進する
■主な事業		■主な成果
福祉課	ユニバーサルデザイン環境推進事業	公共施設、民間施設のユニバーサルデザイン化の普及を推進した。
■課題		■次年度への展開
デザイン対象が高齢者や障がい者に限定されていないため普及推進が難しく、制度利用もない。		ユニバーサルデザインについては、SDGs同様、各事業を実施する上での共通言語に位置付け、施策の体系からは除外する。

3. いきいきと暮らすための健康づくり

施策コード	P2301	
評価	施策の体系	施策の方針
B	①健康寿命延伸のための予防・健診（検診）体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> 生涯を通じた適切な健康診断受診体制を充実させる 予防活動を重視した健康推進活動を進める
	<p style="text-align: center;">■主な事業</p> <p>乳幼児健康診査、母子手帳交付・妊婦健康診査、住民健診（若者健診・特定健診・後期高齢者健診）、がん検診推進事業（子宮・乳がん検診）実施に関する業務、健診体制の整備と未受診者対策、医療費適正化事業、特定保健指導・重症化予防事業、歯科保健事業（歯の祭典を含む）、予防接種事業、食生活改善推進員協議会支援、メンタルヘルス相談事業</p>	<p style="text-align: center;">■主な成果</p> <p>妊婦健診における個別指導から乳幼児健診における発達の確認、住民健診未受診者への働きかけの充実、節目年齢の方への無料クーポン発行によるがん検診の推進など、生涯を通じた健診受信体制の充実に図った。 また、特定保健指導・重症化予防事業では、内臓脂肪の蓄積などに着目した生活習慣病予防のための保健指導・栄養指導を重点的に実施した。</p>
町民課	一般介護予防事業	認知症予防教室の参加者は10名以上を維持しているが、他の教室は参加者が1桁もしくは休止中で推移している。
福祉課		
■課題		■次年度への展開
<p>【町民課】低出生体重児の割合が増加している。妊婦への個別指導の中で妊娠期の健康管理について正しい理解を促す必要がある。住民健診において新型コロナの影響により受診率の低下が伺える。 3歳児のむし歯保有率が増加傾向にある。乳幼児歯科検診や歯科指導のより一層の充実を図る必要がある。 【福祉課】新規認定申請が増加する一方で、介護予防教室に継続して参加したいが、参加できない方が潜在している。</p>		<p>【町民課】住民健診における予約制の導入などの新たな取り組みを実施する。 【福祉課】介護予防教室の内容見直しに取り組む。</p>

施策コード	P2302	
評価	施策の体系	施策の方針
B	②生涯スポーツ活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 生涯を通じて誰もがスポーツによる健康づくりができる体制の充実を進める スポーツに親しむ機会の充実 スポーツ施設の充実
	<p style="text-align: center;">■主な事業</p> <p>生涯学習課 体育協会活動支援事業、住民のスポーツ活動推進、町民体育祭、地区スポーツ活動支援事業、既存の身近なスポーツ施設の充実、拠点的スポーツ施設の整備</p>	<p style="text-align: center;">■主な成果</p> <p>町民体育祭が3年ぶりに開催され、グラウンド・ゴルフ大会で32地区館408名、モルック大会で24地区館183名が参加。合わせて地区スポーツ活動支援事業においてスポーツ推進委員を4件107名派遣した。コロナ禍で減少していた既存スポーツ施設の利用者数も回復しつつある。</p>

<p>総務課</p>	<p>多目的広場の整備</p>	<p>野津防災公園、宮原防災公園を開園。平常時は地域住民の憩いの場所としてスポーツやレクリエーションができる公園として活用している。</p>
<p>■課題</p>		<p>■次年度への展開</p>
<p>【生涯学習課】町民体育祭について、各地区から選手集めが困難などの意見が多数ある。</p>		<p>【生涯学習課】町民体育祭の実施に際し、従来方法の見直しも含め、町民の継続的なスポーツ活動に結びつくような種目、プログラムの検討に取り組む。</p>

4. 誰もがお互いに人権を尊重し、協調して支え合う社会づくり

施策コード		P2401	
評価		施策の体系	施策の方針
B		①人権問題に関する普及・啓発の充実と人権意識の向上	・すべての住民が正しく人権問題を理解するための人権問題に関する普及・啓発活動を進める
		■主な事業	■主な成果
総務課	人権問題に関する普及啓発の推進		毎年度における氷川町人権啓発推進協議会による人権啓発作品募集、人権啓発集会の開催により、あらゆる人権問題について学び、人権啓発について考える場を提供した。
		■課題	■次年度への展開
		人権啓発作品について一般からの応募が少ない。	引き続き、町広報紙及び町ホームページに加え、町公式LINEを活用した募集や募集期間の拡大など対策検討に取り組む。

施策コード		P2402	
評価		施策の体系	施策の方針
C		②男女共同参画社会づくり	・男女がともに社会参加できる庁内外の推進体制や環境づくりを進める
		■主な事業	■主な成果
総務課	男女共同参画社会づくりの推進、男女共同参画社会づくり条例の制定		氷川町男女共同参画推進懇話会委員及び職員を対象に研修を実施した。
		■課題	■次年度への展開
		継続的な啓発並びに県等の実施する研修会への参加や懇話会委員との連携が必要。	研修会や懇話会を開催し、関係各課との連携による更なる事業の推進を検討する。